

クミアイ

水稻 育苗箱施用剤

ビームアボマイヤーTMスピノ[®]

箱粒剤

トリプルパワーで ワイドに防除



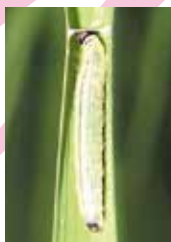
コブノメイガ



ニカメイチュウ



フタオビコヤガ



イネツトムシ



イネドロオイムシ



イネミスズムシ



トビイロウンカ



セジロウンカ



ヒメトビウンカ



いもち病



ツマグロヨコバイ



スピノサドは、バージン諸島で発見された土壌放線菌サッカロポリスポラ スピノサ
が産生する天然物由来の殺虫成分です。
化学合成農薬ではないので、特別栽培農産物に使用しても使用回数(使用成分数)にカウントされません。



有効成分：
 イミダクロプリド……2.0%
 スピノサド……0.75%
 トリシクラゾール……4.0%
 人畜毒性：普通物※
 ※毒劇物に該当しないものを
 指している通称

特長

- 1 育苗箱施用剤の分野で定評のあるビームアドマイヤー粒剤に、コブノメイガ、ニカメイチュウ、イネツトムシに優れた残効を示すスピノサドを混合した殺虫・殺菌剤です。
- 2 ビームはいもち病菌の侵入を強く阻止し、葉いもち病を長期間にわたり防除します。また、胞子飛散阻止作用等により、いもち病の蔓延を防止します。
- 3 アドマイヤーは水稻初期害虫のイネミズゾウムシ、イネドロオイムシはもとより、後期のツマグロヨコバイ・ウンカ類にも有効な薬剤です。
- 4 スピノサドは、バージン諸島で発見された土壌放線菌サッカロポリスポラ スピノサが産生する天然物由来の殺虫成分で、チョウ目害虫、アザミウマ類、ハモグリバエ類に高い効果を示す薬剤です。化学合成農薬ではないので、特別栽培農産物に使用しても使用回数(使用成分数)にカウントされません。

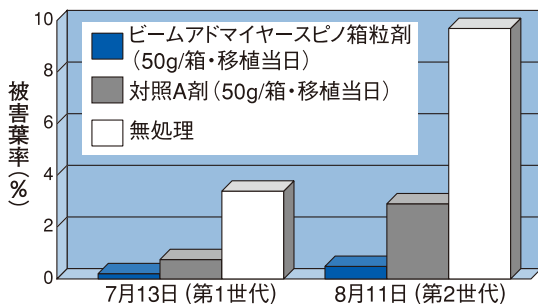
※認証団体によっては見解が異なる場合がありますので、確認してから使用してください。

適用病害虫及び使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
稲(箱育苗)	いもち病 ツマグロヨコバイ ウンカ類 コブノメイガ イネツトムシ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ フタオビコヤガ	育苗箱 (30×60×3cm.) 使用土壌約5ℓ 1箱当り50g	移植2日前 ~移植当日	育苗箱の苗の上から均一に散布する	本剤:1回 イミダクロプリド剤:3回以内 (移植時までの処理は1回以内) 本田での散布は2回以内 スピノサド剤:1回 トリシクラゾール剤:4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)

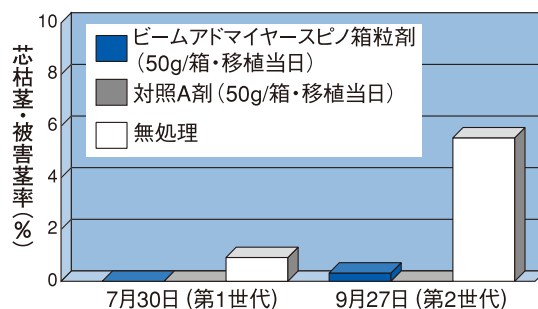
試験成績

●コブノメイガに対する防除効果 2000年 長崎県総合農林試験場



- 処理月日：6月6日、稚苗機械移植 (品種:ヒノヒカリ)
- 区制・面積：1区約240㎡ 反復なし
- 発生状況：中発生 (第1世代・第2世代)
- 調査方法：各区100株×3地点について上位2葉の被害葉数を調査
- 【考察】コブノメイガの第2世代の幼虫に対して、移植66日後の調査で有効であった。

●ニカメイチュウに対する防除効果 2000年 鳥取県農業試験場



- 処理月日：5月30日、稚苗機械移植 (品種:ヤマヒカリ)
- 区制・面積：1区100㎡ 2反復
- 発生状況：小発生(第1世代)、中発生(第2世代)
- 調査方法：1区100株について第1世代では芯枯茎数を、第2世代では被害茎数を調査
- 【考察】ニカメイチュウに対して第2世代まで優れた被害抑制効果が認められた。

使用上の注意事項

- 1.本剤の所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布してください。なお、葉に付着した薬剤は軽く払い落としてください。育苗箱の土壌表面が乾燥している場合は、散布後に軽く灌水してください。
- 2.軟弱徒長苗、老化苗などでは薬害を生ずる恐れがあるので使用をさけてください。
- 3.稲苗葉がぬれていると薬害を生じやすいので、散布直前の灌水はしないでください。
- 4.本剤の処理により、時に葉の黄化や葉先枯れなどの薬害を生ずることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
- 5.本田の代かきはいわねに行なってください。移植後は直ちに入水し、水深2~3cm程度に保ち、極端な浅水や深水は薬害の原因となるのでさけてください。
- 6.深植では薬害を生じやすいので深植にならないように注意してください。
- 7.移植後、低温が続く苗の活着遅延が予測される場合、あるいは移植後極端な高温(30℃以上)が続くと予想される場合は、薬害を生ずるおそれがあるので使用をさけてください。
- 8.本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟堆肥多用田の場合は使用をさけてください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2012年11月現在の知見に基づいて作成されております。 0700(12-11)

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
<http://www.kumiai-chem.co.jp>